

学年:	2年生	Stage:	StageIV	コード:	L2408	単位:	1.7
モジュール名	歯科放射線学 I			科目担当責任者	泉 雅浩		
モジュール名(英字)	Oral Radiology I			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	歯科医師に必要な放射線に関する基本的知識を修得するとともに、画像検査の種類や適応、画像の解釈、放射線が人体に及ぼす影響について理解し、放射線を可及的安全に扱うための知識を修得する。						
ユニット:一般目標	1. 放射線物理学 放射線の種類や特徴、画像検査や放射線治療などに用いられる医療用放射線に関する基本的知識を修得する。 2. 画像検査学 歯科領域で用いられる画像検査法の種類と撮影目的、撮影方法を理解する。画像診断の基礎となる各種検査画像の正常解剖像について説明できる。 3. デジタルエックス線画像学 デジタル画像の形成原理や画質に影響を及ぼす因子等に関する基本的事項を理解するとともに、デジタル画像処理に関する知識を修得する。 4. 放射線生物学 放射線が人体に及ぼす影響を理解し、影響が発生するメカニズムに関する物理学的・生物学的基礎知識を修得する。 5. 放射線防護学・関連法規 放射線障害の発生を防止するために必要な防護に関する知識と関連する法規に関する知識を修得する。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシーCP	CP2,CP3
	- / - / c	a / a / a	a / a / a		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ 新歯科放射線学 第2版/ 金田 隆, 櫻井 孝, 土持 眞 編著/ 医学情報社
 参 1/ 歯科放射線学 第7版/ 岡野 友宏, 小林 馨, 有地 栄一郎 編集/ 医歯薬出版
 参 2/ デジタルデンティストリ/ 有地 栄一郎, 泉 雅浩, 勝又 敬明, 櫻井 孝他/ 永永書店

評価方法

出 欠 席	履修ガイドに記載された通り						
モジュール試験(%)	80	全授業範囲について多肢選択式の試験を実施					
アクティビティ(%)	20	レポート課題の評価を中心に判定する。授業態度が不良なものはモジュール試験の得点を減点することがある。					
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				100			
再試験の評価方法	多肢選択式の試験を実施。GPが1.0以上のものは得点率60%以上を合格とする。GPが1.0未満のものは再試験の得点率60%以上かつ追加レポート評価が合格の場合、本モジュールを合格とする。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	非該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_001_10/29_1限	2026/10/29	1		講義	31番教室	60
ユニット	放射線物理学					
サブユニット	放射線概論 放射線の種類と電離放射線					
授業目標	1) 原子の構造と同位元素について説明できる。 2) 放射線と電離放射線について説明できる。 3) 電離放射線の種類と分類について説明できる。 4) 電離放射線の特徴について説明できる。					
キーワード	放射線、電離放射線、電磁放射線、粒子放射線、荷電粒子放射線、非荷電粒子放射線、直接電離放射線、間接電離放射線					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P3-5:放射線の種類について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-1					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-a,総論VI-2-7-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_002_10/29_2限	2026/10/29	2		講義	31番教室	60
ユニット	放射線物理学					
サブユニット	エックス線と物質との相互作用 エックス線の減弱					
授業目標	1) エックス線エネルギーの違いによって変化する物質との相互作用について説明できる。 2) エックス線の減弱について説明できる。					
キーワード	光電効果、コンプトン効果、電子対生成、距離の逆二乗則、減弱式、吸収係数					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P9~17:エックス線と物質との相互作用、減弱の種類について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-1					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-a,総論VI-2-7-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_003_10/29_3限	2026/10/29	3		講義	31番教室	60
ユニット	放射線物理学					
サブユニット	エックス線の発生と性質					
授業目標	1) エックス線の発生原理について説明できる。 2) エックス線のエネルギーについて説明できる。 3) エックス線の線量と線質について説明できる。 4) 半価層について説明できる。 5) エックス線の一般的な性質について説明できる。 6) コントラストと分解能について説明できる。					
キーワード	エックス線管球、フィラメント、ターゲット、発生の4条件、エックス線スペクトル、管電圧、管電流、半価層、透過作用、電離作用、励起作用、蛍光作用、写真作用、化学作用(着色作用)、生物学的作用、コントラスト、分解能					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	前学習範囲 教科書P18~26:エックス線発生のメカニズムと線量・線質、エックス線の性質について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習 質について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-4,D-2-5-5					

国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-a,必修9-カ-b
--------------	-----------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_004_10/29_4限	2026/10/29	4		講義	31番教室	60
ユニット	放射線物理学					
サブユニット	エックス線装置の構造					
授業目標	1) 歯科用エックス線装置の構造と各部の働きについて説明できる。					
キーワード	エックス線管球、ヘッド、トランス、整流、フィルター、絞り(コリメーター)、コーン					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P78～86: 歯科用エックス線装置の構成と各部の働きについて理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-4,D-2-5-5					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-ア-a,総論VI-2-ア-b,総論VI-2-イ-a,総論VI-2-イ-b,総論VI-2-イ-c,総論VI-2-イ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_005_11/5_1限	2026/11/05	1		講義	31番教室	60
ユニット	放射線物理学					
サブユニット	放射線の単位と概念 放射線同位元素と放射能					
授業目標	1) 放射線の単位とそれぞれの単位の概念について説明できる。 2) 放射線同位元素と放射能について説明できる。					
キーワード	エレクトロンボルト(eV)、照射線量(C/kg)、吸収線量(Gy)、線エネルギー付与(LET, keV/ μ m)、等価線量(Sv)、実効線量(Sv)、生物学的効果比(RBE)、放射能(Bq)、放射線同位元素、半減期					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P6～9、160～163: 放射線量やエネルギーを表すための単位について理解しておく。放射能が発生する原理について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-1					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_006_11/5_2限	2026/11/05	2		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	歯科領域で用いられる画像検査の種類					
授業目標	1) 画像検査法の種類について説明できる。 2) 検査対象組織による検査法の適応について説明できる。 3) 歯科で用いられるエックス線検査の種類を説明できる。 4) 検査で用いる基準線や基準面について説明できる。					
キーワード	エックス線検査、造影検査、CT、MRI、超音波検査、核医学検査、シンチグラフィ					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	前学習範囲 教科書P52～55: エックス線像の濃淡が出来る理由についても理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-7,D-2-5-8,D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-ア-a,総論VI-2-ア-b,総論VI-2-イ-a,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b,総論VI-2-イ-a,総論VI-2-イ-b,総論VI-2-イ-c,総論VI-2-イ-d,総論VI-2-オ-a,総論VI-2-カ-a,総論VI-2-キ-a,総論VI-2-ク-a,総論VI-2-ケ-a,総論VI-2-ケ-b,総論VI-2-コ-a,総論VI-2-コ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_007_11/5_3限	2026/11/05	3		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	口内法撮影1					
授業目標	1) 口内法撮影の種類を説明できる。 2) 二等分法について説明できる。 3) 平行法について説明できる。 4) 咬翼法について説明できる。 5) 咬合法について説明できる。 6) 偏心投影法について説明できる。					
キーワード	二等分法、平行法、咬翼法、咬合法、偏心投影法、垂直的入射角度、水平的入射角度					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P56～77:口内法撮影の種類について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-4,D-2-5-5,D-2-5-6					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-d.総論VI-2-I-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_008_11/5_4限	2026/11/05	4		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	口内法撮影2					
授業目標	1) 口内法撮影1の内容について説明できる。 2) 二等分法エックス線画像の正常解剖像を説明できる。					
キーワード	エックス線透過像、エックス線不透過像、正中口蓋縫合、切歯孔、上顎洞、オトガイ孔、下顎管、その他					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P193～196:口内法の画像解剖について予習しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	E-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-I-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_009_11/12_1限	2026/11/12	1		講義	31番教室	60
ユニット	デジタルエックス線画像学					
サブユニット	ネットワークと画像情報と画像処理					
授業目標	1) コンピュータの基本構成について説明できる。 2) インターネット、LANについて説明できる。 3) 医用画像保存通信システム(PACS)について説明できる。 4) DICOMについて説明できる。 5) 代表的な画像処理法を列挙し、説明できる。					
キーワード	インターネット、LAN、PACS、DICOM、デジタル画像処理					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 デジタルデンティストリーP1～16:インターネット、LANについて理解しておく。 教科書P42-44:DICOMとは何か、PACSとは何か理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-4,D-2-5-5					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-I-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_010_11/12_2限	2026/11/12	2		講義	31番教室	60
ユニット	デジタルエックス線画像学					
サブユニット	歯科用デジタルエックス線システム					
授業目標	1) デジタルエックス線画像について説明できる。 2) 量子化と標本化について説明できる。 3) 画像解像度について説明できる。 4) 歯科用デジタルエックス線システムの検出器 (IP, CCD, CMOS) について説明できる。 5) 被写体コントラストと画像コントラストの違いについて説明できる。 6) 画質に影響を及ぼす因子について説明できる。					
キーワード	デジタルエックス線画像、量子化と標本化、画像解像度、被写体コントラスト、画像コントラスト、IP、CCD、CMOS、像の拡大・歪み、半影、接線効果、重積効果、バーニアアウト、マッハ効果、ヒール効果、線質、散乱線、焦点-被写体-フィルム間距離					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P40～41: デジタル画像とは何か、デジタル撮影に利用される検出器について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-b,総論VI-2-I-a,総論VI-2-I-b,総論VI-2-I-c,総論VI-2-I-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_011_11/12_3限	2026/11/12	3		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	パノラマエックス線撮影					
授業目標	1) パノラマエックス線撮影の種類を説明できる。 2) 回転方式パノラマエックス線撮影の原理を説明できる。 3) 回転方式パノラマエックス線撮影装置の構造を説明できる。					
キーワード	パノラマエックス線撮影、スリット撮影、断層撮影、カセット、増感紙					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P87～100、119～124: パノラマエックス線撮影の種類と撮影原理、使用する器材について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-6, D-2-5-7					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-I-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_012_11/12_4限	2026/11/12	4		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	顎・顔面領域の骨を観察するエックス線撮影法と胸部エックス線撮影 (パノラマエックス線撮影を除く) 事後テスト					
授業目標	1) 口外法撮影の種類を説明できる。 2) 増感紙の働きを説明できる。 3) グリッドの働きを説明できる。 4) カセットの使用目的について説明できる。 5) 頭部単純撮影法について説明できる。 6) 顎関節撮影法について説明できる。 7) 頭部エックス線規格撮影について説明できる。 8) 一般エックス線撮影装置について説明できる。 9) 断層撮影について説明できる。 10) Waters法の正常解剖について説明できる。 11) 胸部エックス線撮影法について説明できる。 12) 胸部エックス線写真の基本的な画像所見を説明できる。					
キーワード	後頭前頭方向撮影法、側方向撮影法、軸方向撮影法、Waters撮影法、頭部エックス線規格撮影、顎関節撮影、下顎骨斜位撮影法、エックス線断層撮影、胸部エックス線撮影					

担当	泉 雅浩
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P102～113: 口外法撮影の種類や使用目的、使用機材について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-8
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-エ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_013_11/19_1限	2026/11/19	1		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	エックス線造影検査、IVR					
授業目標	1) 造影検査の目的について説明できる。 2) 造影剤の種類と所要性質について説明できる。 3) 造影検査の種類について説明できる。 4) 造影検査時の注意事項について説明できる。 5) IVRについて説明できる。					
キーワード	造影剤、陽性造影剤、陰性造影剤、唾液腺造影検査、顎関節造影検査、嚥下造影検査、血管造影検査、IVR					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P114～118、168～172: 造影検査の目的や種類、造影剤について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-エ-d, 総論VI-2-ケ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_014_11/19_2限	2026/11/19	2		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	CT、歯科用コーンビームCT					
授業目標	1) CTの撮影原理について説明できる。 4) 歯科用コーンビームCTの撮影原理について説明できる。 2) CT値について説明できる。 3) ウィンドウ幅、ウィンドウ値について説明できる。 4) 軟組織画像、硬組織画像について説明できる。 5) 歯科用コーンビームCTの撮影原理について説明できる。 6) 歯科用コーンビームCTの利点と欠点について説明できる。					
キーワード	CT、歯科用コーンビームCT					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P136～143: CTならびに歯科用コーンビームCTの撮影原理について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-e, 総論VI-2-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_015_11/19_3限	2026/11/19	3		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	磁気共鳴画像検査(MRI)の撮像原理 事後テスト					
授業目標	1) MRIの撮像原理について説明できる。 2) T1強調像、T2強調像、プロトン強調像の違いについて説明できる。					

キーワード	磁場、磁気共鳴、テスラ(T)、プロトン、RFパルス、スピンエコー、繰り返し時間(TR)、エコー時間(TE)、緩和現象、緩和時間、信号強度、プロトン密度、T1強調像、T2強調像、プロトン強調像
担当	泉 雅浩
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P144～153: MRIの撮像原理や検査の特徴について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-カ-a, 総論VI-2-ケ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_016_11/19_4限	2026/11/19	4		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	超音波検査、超音波画像の読影					
授業目標	1) 超音波検査の撮像原理について説明できる。 2) 超音波画像を解釈し説明できる。					
キーワード	超音波、プローブ(探触子)、エコー信号、前面エコー、内部エコー、底面エコー、後面エコー、ドブラ効果、エラストグラフィ					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P154～158、P206～208: 超音波検査の撮像原理と画像の解釈について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-ク-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_017_11/26_1限	2026/11/26	1		講義	31番教室	60
ユニット	画像検査学					
サブユニット	核医学検査					
授業目標	1) 放射性同位元素について説明できる。 2) シンチグラフィの種類について説明できる。 3) PETの原理について説明できる。					
キーワード	ラジオアイソトープ(RI)、シンチカメラ、ガンマカメラ、骨シンチグラフィ、腫瘍シンチグラフィ、唾液腺シンチグラフィ、PET検査					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P160～167: 核医学検査の種類と原理、画像の解釈について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-9					
国試出題基準(令和5年)	総論VI-2-キ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_018_11/26_2限	2026/11/26	2		講義	31番教室	60
ユニット	放射線生物学					
サブユニット	放射線の生物作用					
授業目標	1) 直接作用と間接作用について説明できる。 2) 放射線のDNAに対する作用について説明できる。 3) 生物学的作用の発生機序について説明できる。					
キーワード	直接作用、間接作用、DNA、フリーラジカル、LET、RBE					
担当	泉 雅浩					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P286～292:放射線の生物学的作用の特徴について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-1,D-2-5-2
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_019_11/26_3限	2026/11/26	3		講義	31番教室	60
ユニット	放射線生物学					
サブユニット	放射線感受性					
授業目標	1) ベルゴニー・トリポンドウの法則について説明できる。 2) 組織の放射線感受性について説明できる。 3) 細胞周期と放射線感受性について説明できる。 4) 放射線感受性に影響を及ぼす因子について説明できる。					
キーワード	放射線感受性、細胞周期、酸素効果、温度効果、保護効果、増感効果					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P293～298:組織の放射線感受性と感受性に影響を及ぼす因子について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-a,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_020_11/26_4限	2026/11/26	4		講義	31番教室	60
ユニット	放射線防護学・法規					
サブユニット	被曝の種類と放射線障害の種類					
授業目標	1) 自然放射線と人工放射線の違いを説明できる。 2) 自然放射線の分類について説明できる。 3) 人工放射線被曝の種類について説明できる。 4) 被曝の対象者による分類について説明できる。 5) 放射線障害の分類基準について説明できる。 6) 身体的影響と遺伝的影響について説明できる。 7) 確率的影響と確定的影響について説明できる。 8) 早期影響と晩期影響について説明できる。					
キーワード	自然放射線、人工放射線、体内被曝、医用放射線、職業被曝、公衆被曝、医療被曝、身体的影響、遺伝的影響、確率的影響、確定的影響、しきい値、早期影響、晩期影響					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P303～317:被曝の種類と放射線障害の分類基準について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-c,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_021_12/3_1限	2026/12/03	1		講義	31番教室	60
ユニット	放射線防護学・法規					
サブユニット	放射線防護の概念					
授業目標	1) 放射線防護の目標について説明できる。 2) 放射線防護の三原則について説明できる。 3) 放射線防護技術の三原則について説明できる。 4) 放射線防護に重要な放射線単位について説明できる。					

キーワード	正当化、最適化、線量限度、遮蔽、距離、時間、吸収線量、等価線量、実効線量、放射線荷重係数、組織荷重係数
担当	泉 雅浩
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P318～321:放射線防護の概念について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2,D-2-5-3
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-c,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_022_12/3_2限	2026/12/03	2		講義	31番教室	60
ユニット	放射線防護学・法規					
サブユニット	放射線防護の対策					
授業目標	1) 患者に対する放射線防護の対策を説明できる。 2) 職業人に対する放射線防護の対策を説明できる。					
キーワード	線質、濾過、照射野、焦点被写体間距離、高感度フィルム、増感紙、防護衣、品質保証					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P322～328:患者や職業人に対する放射線防護対策の概念と手段について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2,D-2-5-3,D-2-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-c,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_023_12/3_3限	2026/12/03	3		講義	31番教室	60
ユニット	放射線防護学・法規					
サブユニット	放射線防護の対策2					
授業目標	1) 公衆に対する放射線防護の対策を説明できる。 2) 個人管理と環境管理について説明できる。 3) 線量測定用器具について説明できる。					
キーワード	小児被曝、胎内被曝、線量限度、漏洩線量、エックス線室、管理区域、居住区域、ポケット線量計、ガラスバッジ、熱蛍光線量計、フィルムバッジ、サーベイメーター					
担当	泉 雅浩					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P45～50、328:公衆被曝の特徴と放射線防護の対策の概念、個人管理と環境管理について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習					
コアカリ(令和4年)	D-2-5-2					
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-c,総論VI-2-ウ-a,総論VI-2-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2408_024_12/3_4限	2026/12/03	4		講義	31番教室	60
ユニット	放射線防護学・法規					
サブユニット	放射線に関連する法規					
授業目標	1) 放射線に関連する医療法施行規則について説明できる。 2) 電離放射線障害防止規則について説明できる。					
キーワード	各種の届出事項、装置や設置場所に関する規制、線量限度、健康診断項目、エックス線装置の規制事項					
担当	泉 雅浩					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習範囲 教科書P328～331:エックス線装置を取り扱う上で知っておくべき関連法規について理解しておく。 事後学習 講義内容の復習
コアカリ(令和4年)	D-2-5-1,D-2-5-2,D-2-5-3
国試出題基準(令和5年)	必修9-カ-c